

高円宮杯 2012ホッケー日本リーグ【 女子 】 第 2 節 第 4 日

開催日時 5 月 27 日 (日) 会場 山梨学院ホッケースタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合	グラクソ・スミスクライン	1	$\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 1 - 3 \end{pmatrix}$	4	東海学院大学
第2試合	山梨学院CROWNING GLORIES	0	$\begin{pmatrix} 0 - 2 \\ 0 - 1 \end{pmatrix}$	3	ソニーHC BRAVIA Ladies
第3試合		0	$\begin{pmatrix} - \\ - \end{pmatrix}$	0	
第4試合		0	$\begin{pmatrix} - \\ - \end{pmatrix}$	0	

【各試合の結果・詳細】

第1試合

グラクソ・スミスクライン 1 $\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 1 & -3 \end{pmatrix}$ 4 東海学院大学

勝点 3
1 勝 0 分 2 敗

勝点 9
3 勝 0 分 1 敗

<得点>

東海学院 : 24分吉原, 46分市山, 49分義浦, 62分清水(美)

グラクソ : 58分神内

<戦評>

開始早々グラクソは素早いドリブルでゴールを狙うが決め切ることができない。粘り強い守備からチャンスを作る東海学院は、24分#14吉原がPCで得点し先制する。その後、お互い相手陣内に攻め込むが得点には至らず、0-1で前半を折り返す。後半は東海学院が優位に試合を進め、11分に#7市山が、14分に#15浅海が得点し、0-3とグラクソを引き離す。対するグラクソは23分に#4神内の強烈ヒットシュートで一点を返すが、27分に東海学院の#24清水が4点目を決める。終了間際、グラクソは懸命に攻めるもスコアは動かず、4-1で東海学院が勝利した。

テクニカルオフィサー	倉嶋 勇	アンパイア	相馬 知恵子
ジャッジ	櫻本 千恵子		山田 恵美

第2試合

山梨学院CROWNING GLORIES 0 $\begin{pmatrix} 0 & -2 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$ 3 ソニーHC BRAVIA Ladies

勝点 4
1 勝 1 分 2 敗

勝点 10
3 勝 1 分 0 敗

<得点>

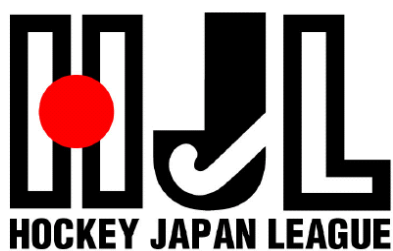
山梨学院 :

SONY : 12分金, 22分中川, 62分藤尾

<戦評>

SONYのセンターパスにより試合が開始されると、SONYは速く正確な攻撃で山梨学院陣地に攻め込む。12分#4村上の強烈なプッシュに#9金が合わせ、先制点を決める。また、22分#5中川がプッシュで2点目を決め、山梨学院を突き放す。一方山梨学院は、攻撃をす仕掛けるがSONYの堅いDFを崩すことができず、0-2で前半を折り返す。後半もSONYペースで試合が進む。点を取りたい山梨学院も多くのセンタリングでゴールを狙うが得点には至らない。62分、PCを取ったSONYは#2林の強烈なスweepに#12藤尾が合わせ得点する。その後、両者ともに攻めるが得点には至らず0-3でSONYが勝利する。

テクニカルオフィサー	倉嶋 勇	アンパイア	安岡 裕美子
ジャッジ	櫻本 千恵子		我妻 順子



高円宮杯 ホッケー日本リーグ 【女子】 第2節 第4日

開催日時 5月27日(日) 会場 親里ホッケー場 天候 晴れ

【試合結果】

<p>コカ・コーラ ウエストレッドスパークス 勝点12 4勝</p>	8	$\begin{pmatrix} 3-0 \\ 5-0 \end{pmatrix}$	0	<p>立命館大学ホリーズ 勝点0 4敗</p>
<p>南都銀行 勝点7 2勝1分1敗</p>	2	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	0	<p>天理大学ベアーズ 勝点1 1分3敗</p>

コカ・コーラウエスト
レッドスパークス 8 $\begin{pmatrix} 3-0 \\ 5-0 \end{pmatrix}$ 0 立命館大学ホリーズ

勝点 12
4勝

勝点 0
4敗

得点	コカ → 3分李、6分新井、19分小野、39分加藤、54分小野、55分加藤、57分加藤、65分金
戦評	立命のセンターパスにより試合が開始された。コカが優位な試合展開から3分にPCを獲得。コカ#18李がフリックシュートをゴール右に決め先制。その3分後、コカ#16金が右サイドから立命陣内に攻めこみ、立命GKの前に詰めていたコカ#9新井がタッチシュートを決める。コカは19分にもPCを獲得し#8小野のヒットシュートがゴール右隅に決まり、立命をコカが圧倒し3-0で試合を折り返す。 後半、攻め続けるコカは39分に#13加藤がタッチシュートを決め4点目とほぼ勝利を手中にした。一方立命もカウンター攻撃をみせるが前日本代表GKコカ吉川を崩せない。その後もコカは立て続けに得点し、8-0とコカが大勝で勝点を12とした。

テクニカルオフィサー	松宮 弘	アンパイア	藤原 真由美
ジャッジ	中野 典子		根岸 郁美

南都銀行 2 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 0 天理大学ベアーズ

勝点 7
2勝1分1敗

勝点 1
1分3敗

得点	南 都 → 23分植田、50分眞鍋
戦評	天理大学のセンターパスにより、試合が開始された。目まぐるしい攻防の中、先にチャンスをつかんだのは南都。13分にPCを獲得するも南都にデンジャラスの反則があり、得点には至らない。天理はカウンター攻撃を狙うも、シュートまで持ち込めず。試合が動いたのは23分。南都#16佐々木が天理陣内左サイドからサークル内に打ちこむと、ゴール前に移動した南都#7植田がタッチシュートを決め先制する。勢いにのる南都が天理陣内で優勢に試合を進め、1-0の南都リードで試合を折り返す。 後半は両チーム一進一退の展開を繰り返す。40分天理陣内で南都#8爲藤はグリーンカードで退場するが、南都DF陣は天理の攻撃を寄せつけない。南都は50分にPCを獲得し#3眞鍋がヒットシュート、天理DFに止められるものの粘る、眞鍋はこぼれ球をヒットシュートでゴール右下に押し込み2点差とする。追いつきを狙う天理のカウンター攻撃も南都DFに阻まれシュートまで持ち込めず、結局2-0で南都昨日に続き連勝で勝点を7にした。

テクニカルオフィサー	松宮 弘	アンパイア	壽山 郁美
ジャッジ	中野 典子		水谷 理恵